

24

午 後

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 28 年 3 月 6 日 13 時 30 分～16 時)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 110 問で解答時間は正味 2 時間 30 分です。
2. 解答方法は次のとおりです。
(1) 各問題には 1 から 4 までの 4 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)では 1 つ、(例 2)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。
(例 1) 問題 100 県庁所在地は (例 2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

2 つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

(例 1) の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙 ① の場合

| | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| 100 | ① | ② | ③ | ④ |
| ↓ | | | | |
| 100 | ① | ② | ● | ④ |

答案用紙 ② の場合

| | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| 100 | ① | ② | ③ | ④ |
| → | | | ● | ④ |
| 100 | ① | ② | ③ | ④ |

(例 2) の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙 ① の場合

| | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| 101 | ① | ② | ③ | ④ |
| ↓ | | | | |
| 101 | ● | ② | ● | ④ |

答案用紙 ② の場合

| | | | | |
|-----|---|---|---|---|
| 101 | ① | ② | ③ | ④ |
| → | ● | ② | ● | ④ |
| 101 | ● | ② | ● | ④ |

記入上の注意事項

① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……⊖ ⊖ ⊖ (解答したことにならない。)

② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」あとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

③ (例 1)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 2)の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 柔道整復師免許について正しいのはどれか。

1. 他の人に貸与できる。
2. 貸渡ができる。
3. 日本国籍がなくても与えられる。
4. 相続ができる。

問題 2 柔道整復師名簿の登録事項でないのはどれか。

1. 現住所
2. 性別
3. 登録番号
4. 試験合格の年月

問題 3 柔道整復師が施術を行う場合、医師の同意で正しいのはどれか。

1. 打撲の患部への施術は医師の同意が必要である。
2. 歯科医師は含まない。
3. 同意は書面で行われ口頭は含まない。
4. 同意は整形外科を標榜する医師でなければならない。

問題 4 柔道整復師の守秘義務で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 刑法に規定されている。
2. 職を辞しても課せられる。
3. 柔道整復師法に規定されている。
4. 施術に関わる内容だけに課せられる。

問題 5 施術所について誤っているのはどれか。

1. 構造設備基準は都道府県条例で規定されている。
2. 開設後 10 日以内に届け出る。
3. 廃止後 10 日以内に届け出る。
4. 衛生上必要な措置は厚生労働省令で規定されている。

問題 9 施術所の名称で医療法に違反するのはどれか。

1. 柔道整復院
2. 接骨院
3. 整復治療院
4. ほねつぎ

問題 6 施術所に対する行政の監督で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 都道府県知事が行うことができる。
2. 立入検査では身分証を携帯しなければならない。
3. 立入検査の権限は犯罪捜査としても認められる。
4. 虚偽の報告をしても罰を受ける事はない。

問題 10 診療録の保存期間で正しいのはどれか。

1. 1年
2. 3年
3. 5年
4. 10年

問題 7 私法はどれか。

1. 行政法
2. 刑 法
3. 柔道整復師法
4. 民 法

問題 11 リハビリテーションの4分野にないのはどれか。

1. 予防的リハビリテーション
2. 医学的リハビリテーション
3. 教育的リハビリテーション
4. 職業的リハビリテーション

問題 8 刑事罰でないのはどれか。

1. 科 料
2. 拘 留
3. 懲 役
4. 損害賠償

問題 12 国際生活機能分類(ICF)の構成要素でないのはどれか。

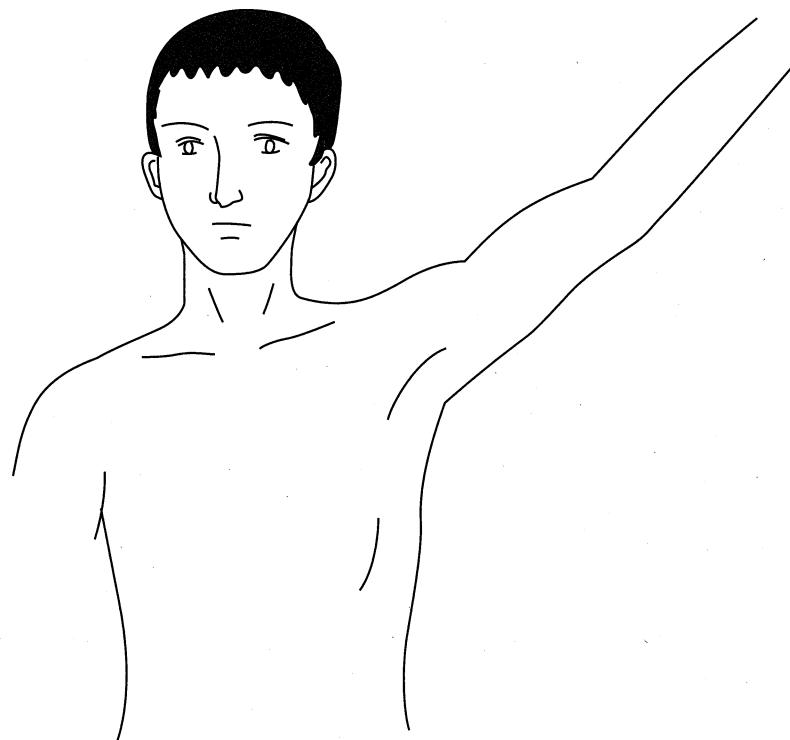
1. 心身機能と身体構造
2. 活 動
3. 参 加
4. 社会的不利

問題 13 国際障害分類(ICIDH)で能力低下にあたるのはどれか。

1. 職場に戻ることができない。
2. 学校に戻ることができない。
3. スポーツ観戦に行くことができない。
4. 箸を使った食事ができない。

問題 14 図に示す左肩関節の肢位で正しいのはどれか。

1. 外転 125 度
2. 屈曲 125 度
3. 伸展 125 度
4. 内転 55 度



問題 15 障害高齢者の日常生活自立度「ランク A」の状態はどれか。

1. 何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
2. 1日中ベット上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいても介助を要する。
3. 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベット上の生活が主体である。
4. 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。

問題 16 人工股関節置換術後に人工関節が脱臼しやすい肢位をとらないように指導されているため、靴下がうまく履けないと訴えがあった。

正しい対応はどれか。

1. 下肢の関節可動域を拡大し靴下を履けるようにする。
2. 家族の介助で靴下を履くように指導する。
3. 自助具を用いて靴下を履く訓練を行う。
4. 靴下を履かないように指導する。

問題 17 腰部脊柱管狭窄症に用いられる装具はどれか。

1. ダーメンコルセット
2. ウィリアムズ型装具
3. テイラー型装具
4. ジュウェット型装具

問題 18 松葉づえをついたときの肘の最適な屈曲角度はどれか。

1. 10 度
2. 20 度
3. 30 度
4. 40 度

問題 19 脳卒中で正しいのはどれか。

1. 歩行が自立するとほとんどの症例で排泄も自立する。
2. 下肢麻痺よりも上肢麻痺の方が治りやすい。
3. 感覚障害の合併はごくまれである。
4. わが国では寝たきりの原因の第 2 位に挙げられる。

問題 20 脳梗塞で流暢に話すが内容に脈絡がなく言語の理解も悪い。

病変部位はどれか。

1. 右大脳半球
2. 左大脳半球
3. 小脳
4. 脳幹

問題 21 50 歳の男性。高所作業中に転落し、胸髄損傷をきたし 6 か月が経過している。完全麻痺症状があるが、上肢機能は正常で、車いすを利用した外出も可能な機能まで回復している。膀胱直腸機能障害があり、尿道カテーテルがはずせない。

- 今後の方針で最も適切なのはどれか。
1. 尿道カテーテル留置を続ける。
 2. 用手排尿法を指導する。
 3. 自己間歇導尿法を指導する。
 4. 膀胱瘻を造設する。

問題 22 腰椎椎間板ヘルニアでみられる坐骨神経痛による姿勢の特徴はどれか。

1. 身体をエビのように折り曲げた姿勢
2. 下肢は痙性となり足が足底側に屈曲した姿勢
3. 患側に体幹を曲げ脊柱が弓状に背屈した姿勢
4. 健側に体幹を曲げ軽く股関節を屈曲した姿勢

問題 23 水疱疹がみられるのはどれか。

1. 帶状疱疹
2. 感染性心内膜炎
3. クインケ(Quincke)浮腫
4. ベーチェット(Behçet)病

問題 24 ベル現象の原因となる脳神経はどれか。

1. 動眼神経
2. 顔面神経
3. 滑車神経
4. 外転神経

問題 25 マルファン(Marfan)症候群でみられるのはどれか。

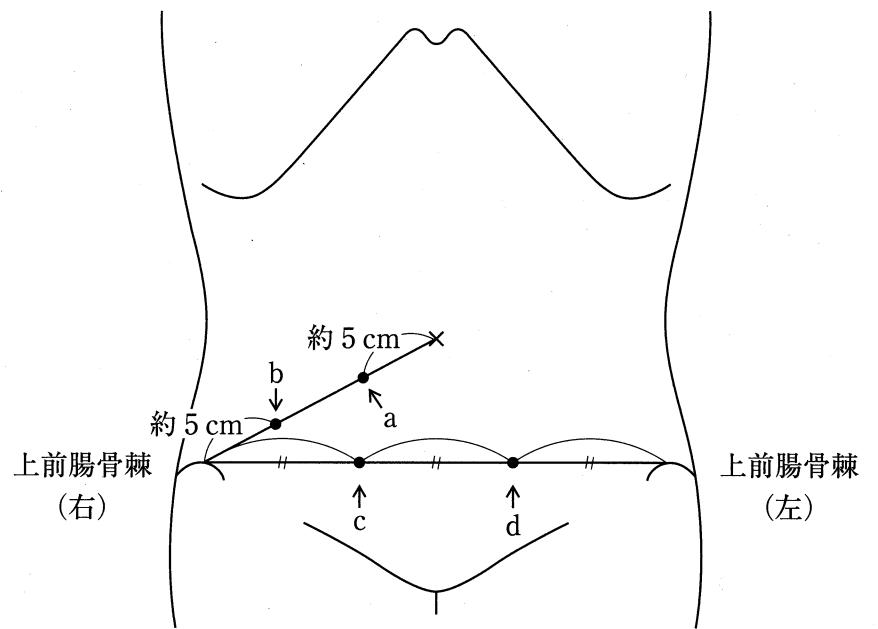
1. 樽状胸
2. 鳩胸
3. 扁平胸
4. 漏斗胸

問題 26 胸部の打診で鼓音を呈するのはどれか。

1. 肺気腫
2. 無気肺
3. 肺炎
4. 胸膜炎

問題 27 マクバーニー圧痛点はどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



問題 28 ウイルヒョウリンパ節転移がみられるのはどれか。

1. 腋窩リンパ節
2. 左鎖骨上窩リンパ節
3. 腸骨リンパ節
4. 単径リンパ節

問題 29 異常な呼吸と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. チーン・ストークス呼吸 ————— 気管支喘息
2. クスマウル呼吸 ————— 過換気症候群
3. 起坐呼吸 ————— うつ血性心不全
4. ビオ一呼吸 ————— 糖尿病性アシドーシス

問題 33 血清アミラーゼが上昇する疾患はどれか。

1. 胃炎
2. 肝硬変
3. 急性胰炎
4. 逆流性食道炎

問題 30 複合感覚はどれか。

1. 触覚
2. 位置覚
3. 振動覚
4. 2点識別覚

問題 34 慢性閉塞性肺疾患の特徴はどれか。

1. 初発症状は胸痛である。
2. 病因の多くはたばこ煙である。
- 3.マイコプラズマ肺炎に引き続いて起こる。
4. ツベルクリン反応が強陽性に出る。

問題 31 反射検査で正しいのはどれか。

1. 末梢神経障害では腱反射が亢進する。
2. 乳児では健常児でもバビンスキー反射がみられる。
3. バビンスキー反射では足底を足の内縁に沿うようにこする。
4. 下顎反射は口を閉じてオトガイ部に指を当てその上をハンマーで叩く。

問題 35 大動脈弁狭窄症で正しいのはどれか。

1. 胸痛が起こることはない。
2. 聴診で収縮期逆流性雜音を聴取する。
3. 心エコー検査で大動脈弁に逆流を認める。
4. 動脈硬化による弁の石灰化により起こることが多い。

問題 32 甲状腺機能低下症にみられるのはどれか。

1. 甲状腺腫
2. 眼球突出
3. 手指振戦
4. 発汗過多

問題 36 バージャー(Buerger)病で正しいのはどれか。

1. 喫煙者に多い。
2. 女性に多い。
3. 高齢者に多い。
4. 上肢に多い。

問題 37 特発性血小板減少性紫斑病で誤っているのはどれか。

1. 急性型と慢性型がある。
2. 骨髄中の巨核球数が減少する。
3. 血小板に対して自己抗体が產生される。
4. ヘリコバクター・ピロリ菌が関係する。

問題 38 慢性骨髓性白血病の原因はどれか。

1. 遺伝子異常
2. ウィルス感染
3. 免疫異常
4. 代謝異常

問題 39 医療面接の方法で誤っているのはどれか。

1. 最初に互いに自己紹介を行う。
2. 聴き取りは主訴から始める。
3. 患者には厳格な態度で接する。
4. 患者の話について共感の態度をとる。

問題 40 慢性腎不全患者の血清中で低下するのはどれか。

1. リン
2. カリウム
3. カルシウム
4. クレアチニン

問題 41 後天性免疫不全症候群(AIDS)で誤っているのはどれか。

1. 日和見感染症を起こす。
2. 母子間感染でも起こりうる。
3. ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による感染症である。
4. 悪性腫瘍の合併はまれである。

問題 42 75歳の男性。2か月前から前立腺癌で治療中。その頃から排尿時の不快感を呈し、頻尿となった。今回、排尿時痛を訴えて受診し、複雑性膀胱炎と診断された。

この疾患で正しいのはどれか。

1. 尿路の腫瘍に伴うことはまれである。
2. 起因菌はほとんどが大腸菌である。
3. 水分の大量摂取で数日で回復する。
4. 再発を繰り返すことが多い。

問題 43 65歳の女性。歩行障害を主訴に来院し、パーキンソン(Parkinson)病が疑われた。

診断根拠となる症状はどれか。

1. 筋トーヌスが減弱し手足が使いにくい。
2. 手足の感覺低下がある。
3. 手足の振戦がみられる。
4. 後傾姿勢がみられる。

問題 44 热傷で正しいのはどれか。

1. 乳幼児の热傷範囲の診断に9の法則を用いる。
2. Ⅲ度热傷で強い痛みを感じる。
3. 気道热傷を合併した場合は重症に分類される。
4. 広範囲热傷患者では胃粘膜障害は発生しにくい。

問題 45 蜂窩織炎で正しいのはどれか。

1. 発赤を伴わない腫脹がある。
2. 原因として真菌感染が多い。
3. びまん性化膿性炎症である。
4. 治療は切開排膿が基本となる。

問題 46 犬に手の甲を約2cm長咬まれた。

適切でない処置はどれか。

1. 生理食塩水での洗浄
2. デブリドマン
3. 一次縫合
4. 抗菌薬投与

問題 47 輸血の副作用で正しいのはどれか。

1. 滴下速度と無関係に発生する。
2. 移植片対宿主反応(GVHD)がある。
3. 発疹は出現すると長時間持続する。
4. 腎不全は不適合輸血直後に起こる。

問題 48 麻酔で誤っているのはどれか。

1. 胃液の誤嚥による肺炎をメンデルソン(Mendelson)症候群という。
2. 悪性高熱症ではアルカローシスを起こす。
3. 筋弛緩薬使用時は呼吸管理が必要である。
4. 前投薬の目的の一つに気道分泌の抑制がある。

問題 49 対処法で誤っている組合せはどれか。

1. 咳 血 ————— 気管支動脈カテーテル塞栓術
2. 鼻出血 ————— ベロックのタンポン法
3. 出血性胃潰瘍 ————— 内視鏡的止血術
4. 心タンポナーデ ————— 冠動脈ステント留置

問題 50 循環血液量減少性ショックをきたしうる病態はどれか。

1. 热傷
2. 急性心筋梗塞
3. 敗血症
4. 緊張性気胸

問題 51 心臓マッサージで正しいのはどれか。

1. 肘はまっすぐに伸ばして圧迫する。
2. 両手は重ねず広く圧迫する。
3. 心窩部を強く速く圧迫する。
4. 1分間に80回圧迫する。

問題 52 胸部外傷で正しいのはどれか。

1. 肋骨骨折の好発部位は第1～3肋骨である。
2. 緊張性気胸の治療は酸素療法である。
3. 第5～8肋骨の連続性多発骨折で胸郭動搖を起こしやすい。
4. 内開放性気胸では膿胸を起こしやすい。

問題 55 脊髄損傷で正しいのはどれか。

1. 第5頸髄節損傷で呼吸不能となる。
2. 脊髄ショックの間は痙攣となる。
3. 脊髄完全損傷では片麻痺となる。
4. フランケル分類Dでは歩行可能である。

問題 53 腹部外傷で正しいのはどれか。

1. 銳的外傷の多くは交通事故が原因である。
2. 脾損傷の治療に血管塞栓術がある。
3. 肝損傷で腹腔内フリーエアーがみられる。
4. 腹部交通外傷では単発外傷のことが多い。

問題 56 アキレス腱断裂で正しいのはどれか。

1. 下腿三頭筋の遠心性収縮時に生じる。
2. アキレス腱周囲炎から移行する。
3. 好発年齢は20歳代である。
4. 断裂後は歩行できない。

問題 54 16歳の男子。柔道練習中、畠に激しく頭をぶつけて10秒間の意識消失を起こした。1時間後には神経症状もなく、頭痛もなかった。

正しいのはどれか。

1. 2度脳しんとうに相当する。
2. 意識が改善すれば神経学的検査は必要ない。
3. 翌日の練習を許可する。
4. セカンドインパクトシンドロームに注意する。

問題 57 骨系統疾患で常染色体劣性遺伝はどれか。

1. 軟骨無形成症
2. モルキオ(Morquio)病
3. 骨形成不全症I型
4. マルファン(Marfan)症候群

問題 58 骨粗鬆症の危険因子でないのはどれか。

1. 肥満
2. 糖尿病
3. 胃切除
4. 関節リウマチ

問題 59 筋萎縮性側索硬化症でみられないのはどれか。

1. 病的反射
2. 嘔下障害
3. 感覚障害
4. 呼吸障害

問題 60 化膿性脊椎炎で正しいのはどれか。

1. 頸椎ではまれである。
2. 小児に多い。
3. 流注膿瘍が合併する。
4. 疼痛は軽度である。

問題 61 正しい組合せはどれか。

1. 仙腸関節炎 ————— 変形性関節症
2. カフェオレ斑 ————— 神經障害性関節症
3. ブシャール(Bouchard)結節 ————— 掌蹠膿疱症性関節炎
4. 指伸筋腱皮下断裂 ————— 関節リウマチ

問題 62 膝痛が初発症状となるのはどれか。

1. セーバー(Sever)病
2. ブラント(Blount)病
3. ペルテス(Perthes)病
4. フライバーグ(Freiberg)病

問題 63 多発する傾向がない骨腫瘍はどれか。

1. 骨軟骨腫
2. 内軟骨腫
3. 骨巨細胞腫
4. 線維性骨異形成症

問題 64 ファーレンテスト陽性の際に筋力が低下するのはどれか。

1. 深指屈筋
2. 長母指屈筋
3. 桡側手根屈筋
4. 短母指外転筋

問題 65 10歳の男児。サッカーコーチに入っている。2日前からの右膝痛のため来院した。痛みが急激に強くなっているという。右膝に腫脹と熱感がみられ、関節エコー検査で膝関節内に液体貯留がみられた。

- 考えられないのはどれか。
1. 離断性骨軟骨炎
 2. オスグッド-シュラッター(Osgood-Schlatter)病
 3. 前十字靱帯付着部脛骨裂離骨折
 4. 化膿性関節炎

問題 66 骨囊腫による上腕骨骨折が起こりやすいのはどれか。

1. 骨頭部
2. 近位骨幹端部
3. 骨幹中央部
4. 顆上部

問題 67 転倒後、腰痛を訴える患者。体幹側屈で疼痛が増強し、膝関節屈曲の坐位からの股関節屈曲運動でも痛みが増強した。

考えられるのはどれか。

1. 腰椎椎間板ヘルニア
2. チャンス骨折
3. 腰部脊柱管狭窄症
4. 腰椎肋骨突起骨折

問題 68 好発年齢と骨損傷の組合せで正しいのはどれか。

1. 幼児期 ——— 腰椎圧迫骨折
2. 思春期 ——— 脛骨粗面裂離骨折
3. 壮年期 ——— 上腕骨外科頸骨折
4. 老年期 ——— 肋骨疲労骨折

問題 69 右大腿骨骨幹部骨折後 24 時間で脂肪塞栓症を疑う所見はどれか。

1. 体温が 36.4 ℃
2. 右大腿から膝部の皮下出血斑
3. 呼吸数が 14／分
4. 脈拍数が 110／分

問題 70 運動枝のみの神経症状を呈するのはどれか。

1. 手根管症候群
2. 総腓骨神経麻痺
3. 前骨間神経麻痺
4. 肘部管症候群

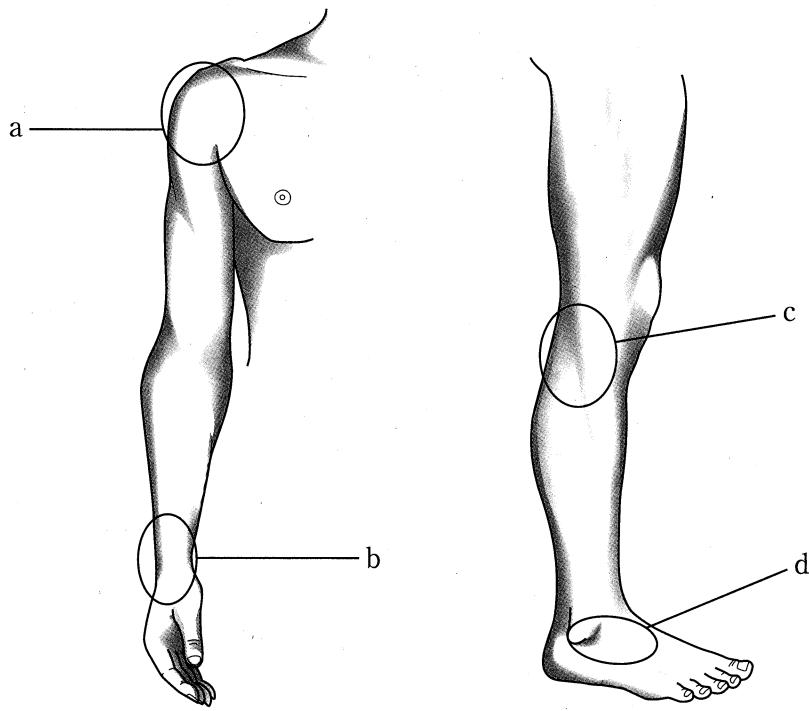
問題 71 膝蓋骨底から 5 cm 近位の大腿周径を計測した結果、左に比べて右が 2 cm 細かった。

主な萎縮筋はどれか。

1. 薄筋
2. 内側広筋
3. 大内転筋
4. 大腿筋膜張筋

問題 72 氷嚢による冷却を長時間行う際、神経麻痺に注意が必要な部位はどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



問題 73 スポーツ外傷に対するテーピング法の主目的はどれか。

1. 骨癒合の促進
2. 血行の促進
3. 皮膚の保護
4. 鞣帯の補強

問題 74 物理療法で正しいのはどれか。

1. コールドスプレーは凍傷のリスクが低い。
2. 超音波は骨損傷部には不適応である。
3. マイクロ波では衣服素材に注意する。
4. 温熱療法は消耗性疾患に適応がある。

問題 75 肋骨骨折と合併症の組合せで正しいのはどれか。

1. 直達外力による浮肋骨骨折 ————— 腎損傷
2. 介達外力による第6肋骨骨折 ————— フレイルチェスト
3. ゴルフスイングによる疲労骨折 ————— 緊張性気胸
4. 左第7～9肋骨多発骨折 ————— 肝損傷

問題 76 肋骨骨折の絆創膏固定で正しいのはどれか。

1. 吸気時に貼付する。
2. 健側胸部から患部を通過し健側背部まで貼付する。
3. 胸郭動搖がある時は硬性素材を併用する。
4. 固定期間は2か月である。

問題 77 肩甲骨骨折で正しいのはどれか。

1. 外科頸骨折は肩関節脱臼との鑑別を要する。
2. 骨体部骨折はバンカート損傷との鑑別を要する。
3. 上角骨折の合併症に気胸がある。
4. 烏口突起骨折は定型的鎖骨骨折に合併する。

問題 78 上腕骨の骨折と合併症、後遺症の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 解剖頸骨折 ————— 骨頭壞死
2. 大結節骨折 ————— インピンジメント
3. 小結節骨折 ————— 肩関節前方脱臼
4. 内側上顆骨折 ————— 内反肘

問題 79 上腕骨外顆骨折で正しいのはどれか。

1. プルオフ型は肘関節内反強制により発生する。
2. 前腕屈筋群の牽引作用により回転転位が生じる。
3. 回転転位は自家矯正される。
4. 驚手変形は受傷後早期から生じる。

問題 80 延長転位するのはどれか。

1. 尺骨骨幹部上・中 $\frac{1}{3}$ 境界部骨折
2. 円回内筋付着部より近位の橈骨骨幹部骨折
3. 橈骨遠位端部伸展型骨折
4. 上腕三頭筋付着部より遠位の肘頭骨折

問題 81 橈骨骨幹部円回内筋付着部遠位骨折の転位で正しい組合せはどれか。

1. 近位骨片回内位 ————— 遠位骨片中間位
2. 近位骨片回外位 ————— 遠位骨片回内位
3. 近位骨片中間位 ————— 遠位骨片回内位
4. 近位骨片回外位 ————— 遠位骨片中間位

問題 82 コーレス(Colles)骨折の合併症で正しいのはどれか。

1. 尺骨茎状突起骨折は屈曲骨折第1型の機序で発生する。
2. 長母指伸筋腱断裂は受傷時に発生する。
3. 手根骨骨折の合併は月状骨に多くみられる。
4. 掌側傾斜角の減少により屈曲制限が出現する。

問題 83 手舟状骨骨折で多いのはどれか。

1. 結節部
2. 近位 $\frac{1}{3}$ 部
3. 腰 部
4. 遠位 $\frac{1}{3}$ 部

問題 84 上前腸骨棘裂離骨折の骨片転位を起こすのはどれか。2つ選べ。

1. 縫工筋
2. 大腿直筋
3. 大腿筋膜張筋
4. 長内転筋

問題 85 ダッシュボード損傷で起こりにくいのはどれか。

1. 小転子骨折
2. 後十字靭帯断裂
3. 膝蓋骨骨折
4. 股関節後方脱臼

問題 86 大腿骨近位部骨折で正しいのはどれか。

1. 転子貫通骨折では下肢の延長がみられる。
2. 中間部骨折では下肢が内旋位を呈する。
3. 転子間骨折では外反股がみられる。
4. 骨頭下骨折では大転子高位がみられる。

問題 87 足根骨骨折で正しいのはどれか。

1. 立方骨骨折は外脛骨との鑑別を要する。
2. 距骨骨折は過剰仮骨形成を起こしやすい。
3. 舟状骨骨折は直達外力によるものが多い。
4. 踵骨骨折ではベーラー角が減少しやすい。

問題 88 胸鎖関節脱臼と肩鎖関節脱臼とに共通するのはどれか。

1. 小児の発生頻度が高い。
2. 上方脱臼が最も多い。
3. 直達外力で発生しやすい。
4. 変形が残存しやすい。

問題 89 肩鎖関節損傷のトッシー(Tossy)分類で重要なのはどれか。

1. 腫 脹
2. 压 痛
3. 反跳症状
4. 運動制限

問題 90 肩関節前方脱臼で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 鎖骨下脱臼は鳥口下脱臼に比べ外転角度が大きい。
2. パンカート損傷は上腕骨頭後外側の欠損をいう。
3. ヒル・サックス損傷は再脱臼の原因となる。
4. スティムソン法による整復は背臥位で行う。

問題 91 成人の肘関節後方脱臼で合併しにくいのはどれか。

1. 上腕骨内側上顆骨折
2. 尺骨鉤状突起骨折
3. 内側側副韌帯断裂
4. 尺骨神経損傷

問題 92 股関節脱臼でローゼル・ネラトン線より大転子が高位となるのはどれか。

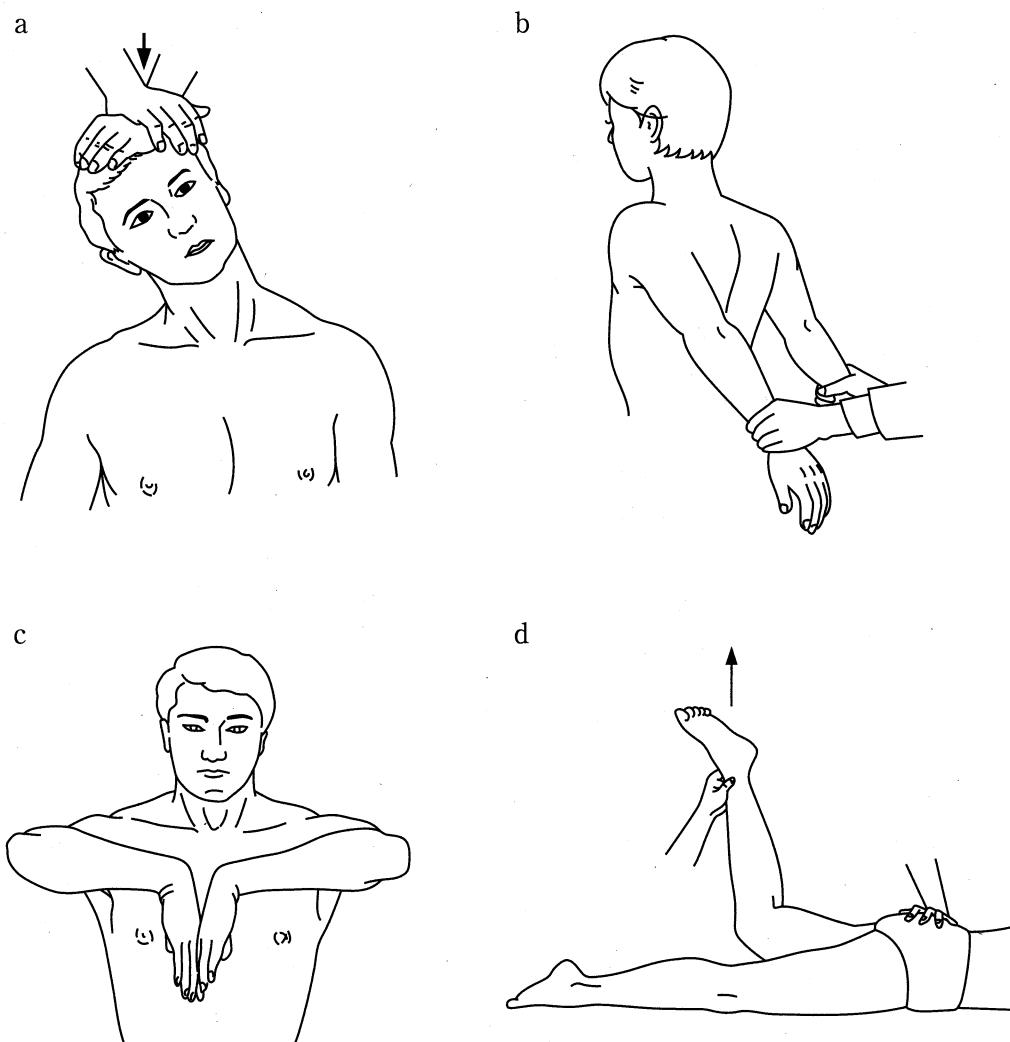
1. 腸骨脱臼
2. 懈骨上脱臼
3. 懈骨下脱臼
4. 中心性脱臼

問題 93 膝蓋骨外側脱臼で正しいのはどれか。

1. Q角の減少は発生要因となる。
2. 膝の肢位に関係なく脱臼するものを習慣性脱臼という。
3. 自然整復されることはまれである。
4. アプリヘンションサインがみられる。

問題 94 神経症状を見る検査でないのはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



問題 95 紋扼性神経障害の原因となるのはどれか。

1. 梨状筋
2. 多裂筋
3. 腸腰筋
4. 中殿筋

問題 96 肘部のスポーツ傷害で正しいのはどれか。

1. 外側側副靱帯損傷は肘関節の外転強制により発生する。
2. 内側側副靱帯損傷の多くは前斜走線維の損傷である。
3. 野球肘は外側型が大部分を占める。
4. 離断性骨軟骨炎は野球肘の内側型でみられる。

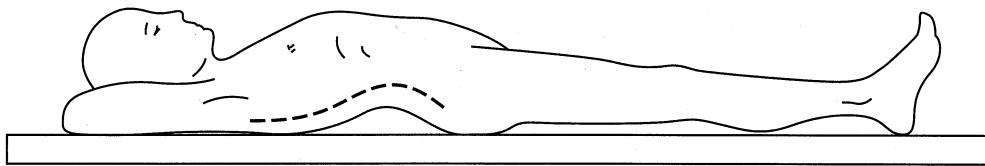
問題 97 筋起始部の病変で陽性になるのはどれか。

1. チェアーテスト
2. ルドルフ徵候
3. トンプソンテスト
4. ナウマン徵候

問題 98 背臥位で図のような脊柱の弯曲を観察した。

考えられる要因はどれか。

1. 腹直筋の短縮
2. 腸腰筋の短縮
3. 上殿神経の麻痺
4. 大腿神経の麻痺



問題 99 半月板損傷で正しいのはどれか。

1. 伸展した膝関節に回旋力が加わり発生する。
2. 円板状半月に起因する損傷は小児に多い。
3. 半月板前節の断裂が多い。
4. 牽引アプライテストは診断に有用である。

問題 100 シンスプリントで誤っているのはどれか。

1. 扁平足は発症要因の一つである。
2. 脛骨の中央以下で内後側縁に圧痛がみられる。
3. 足関節底屈抵抗運動で疼痛が増強する。
4. 発症後 3 週で仮骨の形成がみられる。

問題 101 60 歳の男性。5か月前に高所から飛び降り踵骨の骨折をした。現在で

も疼痛や浮腫がみられるので主治医から後療法を依頼された。

症状持続の要因で考えられるのはどれか。

1. モートン(Morton)病
2. 反射性交感神経性ジストロフィー
3. 骨壊死
4. コンパートメント症候群

問題 102 6 歳の女児。3 週前に上腕骨頸上伸展型骨折をいたし、徒手整復と経皮的ピンニングが施行された。ギプス固定を本日除去し、後療法開始の指示を主治医から受けた。

後療法に際して最も注意すべき合併症はどれか。

1. ズデック(Sudeck)骨萎縮
2. 関節強直
3. 骨化性筋炎
4. フォルクマン(Volkmann)拘縮

問題 103 58歳の男性。自転車で走行中に転倒し来所した。左上腕部の腫脹と変形を呈していた。近医で撮影した単純エックス線写真(別冊 No. 1)を別に示す。受傷直後から、母指・示指・中指の背側付近に感覚障害があった。

まず行うべき固定肢位の組合せはどれか。

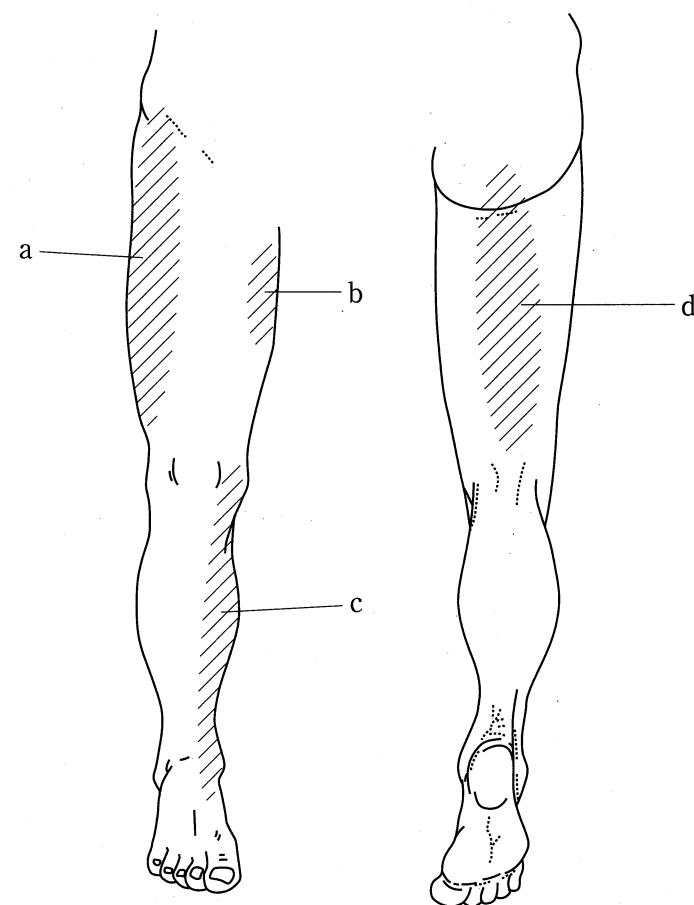
1. 肩関節外転位 ——— 手関節伸展位
2. 肩関節外転位 ——— 手関節屈曲位
3. 肩関節内転位 ——— 手関節伸展位
4. 肩関節内転位 ——— 手関節屈曲位

別冊 No. 1
写 真

問題 104 25歳の男性。スキージャンプ競技中、着地でバランスを崩し受傷した。右股関節は屈曲、外転、外旋位に弾発性固定され、大転子部の突出は触知不能となっている。

神経損傷を合併したときの感覚障害が現れるのはどれか。

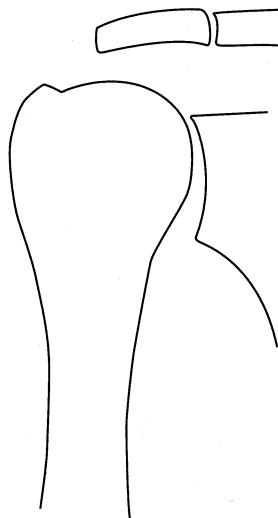
1. a
2. b
3. c
4. d



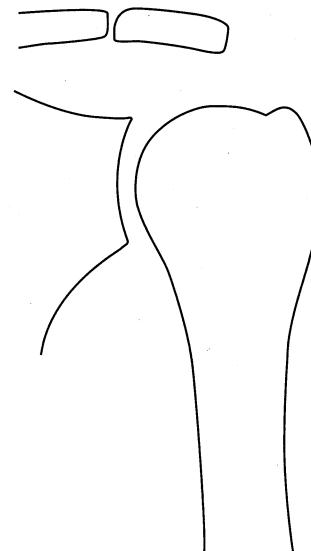
問題 105 50歳の男性。右肩痛を訴えて来所した。10年前に柔道で負傷したが放置していた。最近、右肩に力を入れると痛みが走り、肩を使うと次第に痛みが強くなる。近医で単純エックス線検査を受けたところ、図のような所見であった。

検査で陽性となるのはどれか。

1. サルカスサイン
2. ライトテスト
3. アドソンテスト
4. インピングメントサイン



患 側



健 側

問題 106 35歳の男性。倉庫で製品の管理をしている。昨日、約30kgの製品を持ち上げたとき、右上腕部にブチッという音と共に疼痛が出現したと訴え来所した。初検時に左右の肘関節を自動屈曲したときの外観写真(別冊No. 2)を別に示す。

最も考えられる上腕二頭筋の損傷部位はどれか。

1. 長頭腱
2. 短頭腱
3. 筋 腹
4. 遠位腱

別 冊 No. 2
写 真

問題 107 52歳の女性。6か月前から週1回のテニスの練習をしている。バックハンドストロークの練習をしていたところ右肘の外側に強い痛みが出現した。日常生活にも支障が出てきて来所した。中指伸展テスト及びトムゼンテストが陽性であった。

最も関与しているのはどれか。

1. 長橈側手根伸筋
2. 短橈側手根伸筋
3. 腕橈骨筋
4. 回外筋

問題 108 17歳の男子。野球部のキャッチャー。2週前に左示指をつき指したが、症状が軽く練習を継続していた。昨日、指の変形に気付き整形外科を受診し、装具固定を受け、DIP関節の自動屈曲運動を行うように指導を受けた。DIP関節の自動屈曲を行っている写真(別冊No. 3)を別に示す。

考えられる損傷部位はどれか。

1. 終止腱
2. 中央索
3. 深指屈筋腱
4. PIP関節掌側板

別冊 No. 3
写真

問題 109 21歳の男性。2か月前、ラグビーの試合中に右膝前面を強打したが試合はそのまま出場した。それ以降、右膝に軽い腫れや違和感があった。1週前から練習中に右膝後方に痛みが出現し、不安定感も出てきたので来所した。初検時、検者は患者を背臥位とし図のような評価を行った。

検者が健側との比較目的でみているのはどれか。

1. 下腿筋の萎縮
2. 関節の腫脹
3. 脛骨粗面の位置
4. 膝蓋骨の不安定性



問題 110 21歳の男性。空手の試合中に左下腿前面を蹴られ、翌日、疼痛が増強したので来所した。軋轢音および介達痛は認められなかった。高度腫脹による皮膚光沢がみられ、自発痛、筋の伸張時痛、感覺障害、運動障害が認められた。

搬送に際してまず行うべき処置はどれか。2つ選べ。

1. 安 静
2. 冷 却
3. 圧 迫
4. 挙 上

